

2018 年度

事業計画書  
収支予算書

自 2018 年 10 月 1 日

至 2019 年 9 月 30 日

一般財団法人 Y S 市庭コミュニティー財団

## 2018年度事業計画書

(2018年10月1日～2019年9月30日)

2018年度助成事業（2019年9月期）は、当財団HP [<http://ys-ichiba.org/>]並びに公益財団法人 助成財団センターのHP [<http://www.jfc.or.jp/>]に助成募集に関する掲載をし、並行して財団役員並びに事務局スタッフによる応募要綱の説明を随時、実施しました。

### 応募要項の主旨

当財団の助成事業は、地域に根付いたコミュニティーが活性化するように、活性化されたコミュニティーにより新たな日々の暮らしの価値観が生まれることを願って実施するものです。

私達は社会環境等に惑わされて自分を見失うことがあります。お互いの意思の疎通を円滑にすることによって相対的な意思の合意形成を心がけることを強く認識したいと考えます。人は何らかのコミュニティーに包まれていることを理解し、コミュニティーの中で自分の可能性をより高めていくことも考える必要があります。

コミュニティー活動を通じて、日々生活する人々が活気に満ち、地域の再生、暮らし、文化の発展、技術の革新等に寄与すNPO活動等を応援したいと考えます。

- ・ 応募書類受付期間：2018年6月10日(日)～7月31日(火)
- ・ 選考委員会：2018年8月22日 13時より  
於：YS ディセンダントビル2階 市庭スタジオ

選考結果は：2018年10月1日までに、全ての応募者に文書で連絡いたします。

2018年度は、この選考結果に基づき、財団の事業目的に沿って、つぎの事業を実施する計画です。

◎ 事業内容

1. 助成事業

1) コミュニティー振興及びまちづくりに関する事業

助成対象 10～15 件程度 予算額 700 万円以内

(助成対象先)

No.	団体名	事業名	助成金額
1	東新会 代表者 榎原 節男	国登録有形文化財建物を拠点として地域コミュニティの再生 -甦れ歴史的建造物-	100 万円
2	IMADATE ART FIELD 実行委員会 代表者 増田 頼保	第 31 回 今立現代美術紙展 1301 展	100 万円
3	NPO 法人 山の遊び舎はらぺこ 代表者 阿部 大輔	子育てを考える集い	35 万円
4	明和義人祭実行委員会 代表者 長谷川 義明	明和義人祭『江戸時代へタイムスリップ 明和の新潟を原体験～』	50 万円
5	特定非営利活動法人体験教育研究会 ドングリ 代表者 正平 辰男	子どものための作って食べる無農薬野菜講座	30 万円
6	特定非営利活動法人 NPO みなとしほがま 代表者 菅原 周二	続「しほがまの歴史的建造物」地域の魅力発信事業	160 万円
7	高野地域農村体験交流実行委員会 代表者 後藤 信房	高野地域農村体験交流プロジェクト	56 万円
8	NPO 法人 ハッピーメイト 蛭田 真由美	「ゆっこばあばの台所」	33 万円
9	柳中放課後カフェ実行委員会 代表者 小松 豊明	柳中放課後カフェ	8 万円
10	シメサイ実行委員会 代表者 菅原 太	志免祭 国際コメディシアターフェスティバル 2019	40 万円
11	高千穂町吹奏楽連合会 【tzedakah】 代表者 田畑 歩	部活動における外部指導・ボランティア精神の醸成	70 万円
12	G 音楽たい 代表者 土持 真一郎	過疎地認知症対策音楽療法活動	50 万円
13	子どもファースト koga 代表者 加藤 典子	子が (koga) 育つ 幸せの国に学ぶ～わたしたちの子育てを考えよう	30 万円
14	特定非営利活動法人 Ilove つづき 代表者 斎藤 晶子	地元産小麦と野菜を使った商品化プロジェクト	30 万円
15	NPO 法人フローラファミリー 代表者 川奈 延江	青空カフェ事業	10 万円

No.	団体名	事業名	助成金額
16	NPO 法人田の浦ファンクラブ 代表者 佐藤 功一	東日本大震災9年目のまちづくり活動リ ノベーション	50 万円
17	地球対話ラボ 代表者 小川 直美	インドネシア・アチェと東北の被災地間 交流・第5期 ～地域をつなぎ、相互に学ぶスタディツ アー～	100 万円
18	特定非営利活動法人 自立生活支援センター フリーダム21 代表者 上野 浩司	奈良ユニバーサル観光マップ事業	50 万円
合計 (18 件)			1,002 万円

2) 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

助成対象 10～15 件程度 予算額 700 万円以内

(助成対象先)

No.	団体名	事業名	助成金額
1	一般財団法人 北海道フロアボール普及プロジェクト 代表者 梅田 弘胤	ニュースポーツによる地域の異世代交流促進事業(継続事業2年目)	20 万円
2	きょうと多文化支援ネットワーク 代表者 牧田 幸文	第4回 グローバルセッション～日本で暮らす私、老後をどう考える?～	10 万円
3	環境アレルギーアドバイザー支援ネットワーク 愛知支部 代表者 加藤 美奈子	環境アレルギーを親子で身近に感じて体験し学ぼう	30 万円
4	Twins Family 代表者 今岡 麻住	多胎児サークル	1 万円
5	特定非営利活動法人アートフル・アクション 代表者 緒方 恵一	「美術の森」整備を通じた地域力向上プロジェクト	50 万円
6	一般社団法人EGGs 代表者 樋口 史篤	市民が集いひとの最期を語る「EGGsカフェ」事業	30 万円
7	スペシャル・アート・ファクトオリー 代表者 井上 尚子	アートを楽しむインクルーシブな場づくり	18 万円
8	じもとの学び舎プロジェクト 代表者 松田 誠一	ほんわか のほほん♪ じもとの学び舎	56 万円
9	NPO 法人 ゆめ希望 代表者 加藤 完二	豪雪地域におけるネガティブ払しょく事業 {ジャンゴよこて雪物語「あ!喜多の国から」}	40 万円
10	さばえ・ロボット・クラブ Roboject 代表者 塚崎 勝訓	ロボットをとしてエンジニアの卵を育てる事業	26 万円
合計 (10 件)			281 万円

3) 防災講座・防災シミュレーション体験講座・お料理体験講座の開催助成

助成対象 6 件程度 予算額 300 万円以内

(助成対象先)

No.	団体名	事業名	助成金額
1	福島県うつくしまふくしま未来支援センター 代表者 初澤 敏生	防災リーダー育成プログラム	157 万円
2	一般社団法人 日本非常食推進機構 代表者 古谷 賢治	防災に備えた 防災・備蓄啓発研修 ～若い世代の地域コミュニティづくり「子どもを守る」をキーワードに～	50 万円
3	公立大学法人熊本県立大学 代表者 白石 隆	防災・減災ではじめるまちづくり講座 ～防災クロスロードゲーム体験～	40 万円
4	特定非営利活動法人まちの防災研究会 代表者 松森和人	水害・土砂災害からの避難力育成 シミュレーション事業	50 万円
5	NPO 法人宮城歴史資料保存ネットワーク 代表者 齋藤 善之	宮城資料ネット 資料保全の現場探訪	40 万円
6	防災ママかきつばた 代表者 高木 一恵	【防災に najimu ママ向けセミナー】マ マラク！防災食カフェ	40 万円
7	福島復興【FUKU-0】プロジェクト手をつなごう岡山実行委員会 代表者 八木 慶市	学生参加による被災地復興支援と社会 貢献活動の推進	77 万円
合計 (7 件)			454 万円

4) 体験学習（職場体験）に関する事業の助成

助成対象 3 件程度 予算額 400 万円以内

(助成対象先)

No.	団体名	件数	助成金額
1	特定非営利活動法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 代表者 生重 幸恵	小中高校生のための「伊藤研修センター」 の特徴を生かした体験学習推進事業	108 万円
2	NPO 法人 ALL SeeD Association 代表者 千葉 千栄美	ココ to ミライ：高校生～若者バージョン (継続 2 年目助成申込)	70 万円
合計 (2 件)			178 万円

## 2. 自主運営事業

### 知の冒険事業の実施

生涯学習講座の開催並びに当財団が考えるコミュニティー事業 予算 2 件 150 万円

これは当財団の理事並びに評議員の方々の豊かな見識とご縁を基に、助成先と共に考え、様々な社会的な課題を解決試行していこうという事業です。

2018 年度の助成先はございません。

#### 1) 「お持ち込み講演会」

講演主旨、内容にふさわしいベストな形でお客様に聴いて頂きたいと考えております。また、講演会講師、テーマ主旨、会場地域等は、当財団のホームページに今後掲載する予定です。

#### 2) 当財団が考えるコミュニティー事業

助成団体が考える社会的な課題を解く為の事業を共に考え解決策を試行する取り組みを考えています。

(有)ジー・エヌ・エヌ所有の西荻市庭ビル(東京都杉並区西荻北 3-21-5)4 階を、NPO 活動を行う中心軸の方々に、地域コミュニティーの振興を図る場を提供することにしました。どのような地域活動が生まれ、コミュニティーが拡散していくのか、見守りたいと考えています。



### 3. 2018 年度助成金合計

No.	助成カテゴリー	助成件数	助成金額
1)	コミュニティー振興&まちづくり	18 件	1,002 万円
2)	社会教育&スポーツ	10 件	281 万円
3)	防災関連&お料理体験講座	7 件	454 万円
4)	体験学習	2 件	178 万円
5)	知の冒険事業	0 件	0 万円
合計		37 件	1,915 万円

総括：本年度は九州から北海道まで全国津々浦々から応募を賜り、助成金交付応募総数が 74 件と、昨年とほぼ同じ応募を頂きました。様々な活動を行う各団体から助成団体を選考した結果、37 件、1915 万円の交付実績となる予定です。

今年の傾向としてあげられるのは、まちづくり、防災関連事業、マイノリティーの方々への支援において、応募が多々見受けられました。

助成カテゴリー4 分野の団体へ助成金交付ができるようになりますと、地域の活性化の一助としての役割を担うことになると考えています。

助成をさせて頂く秀逸な事業団体との接触、交流を通じて、当財団も知見、視野を広めながら、“中身”のある NPO 活動団体と共に成長していくことを願っています。

以上